

差替

令和5年度 第1回杉並区地域自立支援協議会 次第

- 1 開会
- 2 保健福祉部長挨拶
- 3 委員自己紹介及び幹事紹介 ……資料1
- 4 会長及び副会長の指名
- 5 会長挨拶
- 6 報告及び検討
 - ① 杉並区地域自立支援協議会(位置づけ・役割・組織等)について ……資料2
 - ② 今年度の本会のスケジュールについて ……資料3
 - ③ 第9期の取り組みについて
 - 障害福祉計画に対する意見聴取 ……資料4
 - 障害者地域相談支援センターすまいるの評価
 - 地域生活支援拠点についての評価 ……資料5
 - 個別事例を通じた地域課題の検討 ……資料6
 - 虐待防止の取り組み ……資料7
 - ④ シンポジウムについて ……資料8

~~~ 休憩 5分 ~~~~

- ⑤ 意見交換 ~虐待防止の取り組みについて(グループワーク)~

意見交換の内容

資料7ー2を参考に、協議会として働きかけ、虐待防止となるような取り組みとして、良いアイデアがないか、意見交換を行う。

7 その他(連絡事項等)

- ・次回の日程 令和5年7月6日 9:30~11:30 杉並区役所分庁舎 4 階 AB
- ・その他

<裏面あり>

令和 5 年 5 月 15 日  
10 時 ~ 12 時  
区役所分庁舎 4 階 AB

<配布資料>

- 資料1 第9期前期杉並区地域自立支援協議会委員名簿(席上配布)
- 資料2 杉並区地域自立支援協議会について
- 資料3 令和 5 年度自立支援協議会本会と計画部会のスケジュール
- 資料4-1 地域自立支援協議会計画部会について
- 資料4-2 (仮称)杉並区障害者施策推進計画の策定について
- 資料4-3 令和5年度地域自立支援協議会計画部会名簿(席上配布)
- 資料5 地域生活支援拠点についての評価について
- 資料6 個別事例を通じた地域課題の検討について
- 資料7-1 第8期(令和3~4年度)地域自立支援協議会の取り組み状況と課題
- 資料7-2 令和 4 年度 虐待防止の取り組み~現状と課題
- 資料8 (参考)これまでの地域自立支援協議会シンポジウム

## 第 9 期前期 杉並区地域自立支援協議会委員名簿

令和 5 年 4 月現在

| NO. |    |    | 委員氏名   | 団体名等                          | 部会          | 備考                |
|-----|----|----|--------|-------------------------------|-------------|-------------------|
| 1   | 継続 | ◎★ | 高山 由美子 | ルーテル学院大学                      |             | 学識経験者             |
| 2   | 継続 |    | 奴田原 直裕 | こもればカウンセリングルーム                |             | 障害当事者             |
| 3   | 新規 |    | 齋藤 聡   | アーツアンドクラフツ株式会社                |             |                   |
| 4   | 新規 |    | 上田 久美子 | すまいる高円寺                       |             |                   |
| 6   | 継続 |    | 田邊 大樹  | 都立中野特別支援学校（高等部）               |             | 教育関係者             |
| 7   | 新規 |    | 宮崎 卓矢  | 都立永福学園肢体不自由教育（高等部）            |             | 教育関係者             |
| 8   | 新規 |    | 西明 久恵  | 杉並区社会福祉協議会                    |             | 権利擁護関係者           |
| 9   | 継続 |    | 氷見 真敏  | 杉並区障害者雇用支援事業団                 |             | 就労支援関係者           |
| 10  | 新規 |    | 小林 哲   | 杉並育成園すだちの里すぎなみ                |             | サービス事業所           |
| 11  | 継続 |    | 中元 直樹  | 精神障害者地域生活支援すぎなみ会議（グループホームネスト） |             |                   |
| 12  | 新規 |    | 水谷 泰三  | 社会福祉法人いたるセンター（グループホーム）        |             |                   |
| 13  | 継続 |    | 相田 里香  | 杉並区ケアマネジャー協議会                 |             | 高齢分野              |
| 14  | 新規 |    | 関根 麻里絵 | 地域包括支援センターケア 2 4 方南           |             |                   |
| 15  | 継続 |    | 継 仁    | 杉並区医師会                        |             | 保健医療関係者           |
| 16  | 継続 | ○★ | 野瀬 千亜紀 | すまいる荻窪                        | 地域移行促進部会事務局 | 相談支援事業所<br>（すまいる） |
| 17  | 新規 | ★  | 藤巻 鉄士  | すまいる高円寺                       |             |                   |
| 18  | 継続 | ★  | 春山 陽子  | すまいる高井戸                       |             |                   |
| 19  | 継続 | ★  | 修理 美加沙 | やどり木                          | 相談支援部会長     | 特定相談支援事業所         |
| 20  | 継続 | ★  | 早野 節子  | 相談支援事業所かすみ草                   | 相談支援部会副部会長  |                   |
| 21  | 新規 | ★  | 佐藤 陽子  | いたる相談室                        | 相談支援部会副部会長  |                   |
| 22  | 新規 | ★  | 高橋 和哉  | 相談支援事業所ういる                    | 高齢障害連携部会長   |                   |
| 23  | 新規 | ★  | 鈴木 亮介  | あおばケアセンター                     | 地域移行促進部会長   | 一般相談支援事業所         |
| 24  | 新規 |    | 河津 利恵子 | 障害者団体連合会                      |             | 家族                |
| 25  | 継続 |    | 池部 典子  | 障害者団体連合会                      |             |                   |
| 26  | 継続 |    | 池部 弘子  | 非営利活動法人 ももの会                  |             |                   |

◎会長 ○副会長 ★幹事会メンバー

| NO. |    |  | 幹事氏名   | 役職             |
|-----|----|--|--------|----------------|
| 1   | 継続 |  | 山田 恵理子 | 保健福祉部障害者施策課長   |
| 2   | 新規 |  | 眞鍋 稔晴  | 保健福祉部障害者生活支援課長 |
| 3   | 新規 |  | 井上 純良  | 保健福祉部長         |

| NO. |    |   | 事務局氏名   | 所属                 |
|-----|----|---|---------|--------------------|
| 1   | 新規 | ★ | ジグナー 弘美 | 障害者施策課基幹相談支援係長     |
| 2   | 継続 | ★ | 永沢 文子   | 障害者施策課障害者保健担当係長    |
| 3   | 新規 | ★ | 直井 誠    | 障害者生活支援課すぎのき生活園園長  |
| 4   | 新規 |   | 白川 久美子  | 高齢者在宅支援課地域包括ケア推進係長 |
| 5   | 新規 | ★ | 太田 有子   | 障害者施策課基幹相談支援係      |
| 6   | 継続 | ★ | 星野 健    | 障害者施策課基幹相談支援係      |
| 7   | 新規 |   | (小澤 章勇) | 計画調整担当係長           |

## 杉並区地域自立支援協議会について

### 【協議会とは？】

法的根拠

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律

(略称：障害者総合支援法)

#### (協議会の設置)

- **第八十九条の三** 地方公共団体は、単独で又は共同して、障害者等への支援の体制の整備を図るため、関係機関、関係団体並びに障害者等及びその家族並びに障害者等の福祉、医療、教育又は雇用に関連する職務に従事する者その他の関係者（次項において「関係機関等」という。）により構成される**協議会を置くように努めなければならない。**
- **2** 前項の協議会は、関係機関等が相互の連絡を図ることにより、地域における障害者等への支援体制に関する課題について情報を共有し、関係機関等の連携の緊密化を図るとともに、地域の実情に応じた体制の整備について協議を行うものとする。

# 【協議会の機能】

(厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長通知 障発03238第8号 平成25年3月28日)

- ・ 地域における障害者等への支援体制に関する課題の共有
- ・ 地域における相談支援体制の整備状況や課題、ニーズ等の把握
- ・ 地域における関係機関の連携強化、社会資源の開発・改善等に向けた協議
- ・ 地域における相談支援従事者の質の向上を図るための取組
- ・ 個別事例への支援のあり方に関する協議、調整
- ・ 地域における課題等について都道府県協議会への必要に応じた報告
- ・ 市町村から障害者相談支援事業の委託を受ける事業者が作成する事業運営等の評価
- ・ 基幹相談支援センターの設置方法や専門的職員の配置に関する協議、事業実績の検証
- ・ 障害者虐待の未然の防止、早期発見・早期対応に向けた体制構築に関する協議
- ・ 市町村障害福祉計画の進捗状況の把握や必要に応じた助言
- ・ 専門部会等の設置、運営等

## 【協議会の主な役割】

- ・ **相談支援体制**について、地域の実情に応じた体制の整備について協議を行い、課題を共有し、関係機関の連携の緊密化をはかる役割が「協議会」である
- ・ **障害福祉計画**の推進状況を把握し、必要に応じて障害福祉計画に係る助言等を行う
- ・ **障害者虐待防止**において、その体制を整備し、関係機関でネットワークを構築、強化を図る

## 【地域自立支援協議会の機能】

### 情報機能

- ・ 困難事例や地域の現状・課題等の情報共有と情報発信

### 調整機能

- ・ 地域の関係機関によるネットワーク構築
- ・ 困難事例への対応のあり方の対する協議、調整

### 開発機能

- ・ 地域の社会資源の開発、改善

### 教育機能

- ・ 構成員の資質向上の場として活用

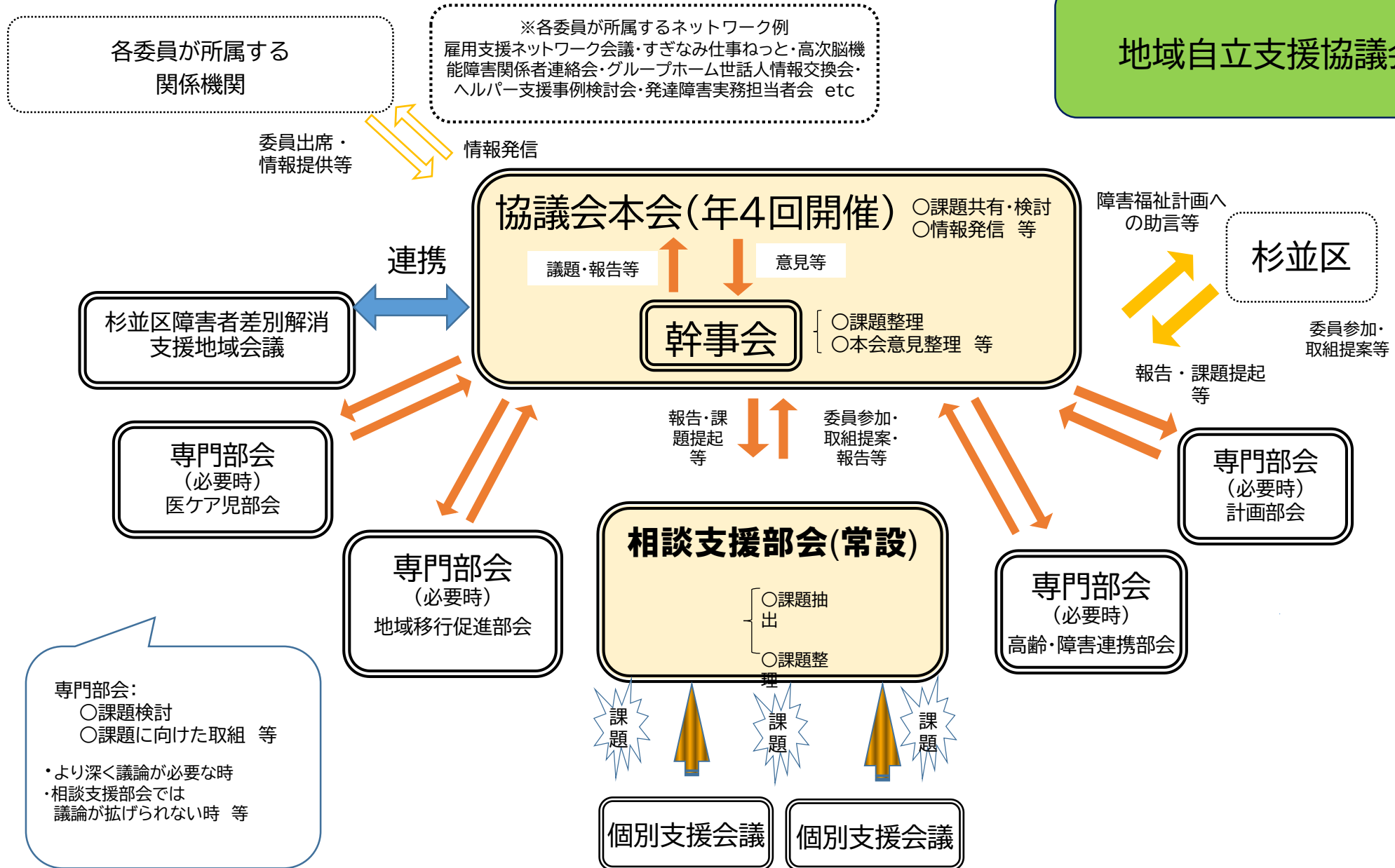
### 権利擁護機能

- ・ 権利擁護に関する取り組みを展開する

### 評価機能

- ・ 中立・公平性を確保する観点から、委託相談支援事業者の運営評価、サービス利用計画作成費対象者、重度包括支援事業者の評価、市町村相談支援機能強化事業及び都道府県相談支援体制整備事業の活用

# 地域自立支援協議会の体制





## 【各部会について】

| 部会名          | 開催目的等                                                                                             |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 相談支援部会       | 相談支援を通じて、地域の課題を抽出し、課題を検討したり、課題解決に向けた取組みを行う。課題を解決するための地域のネットワークの構築を進める。相談支援従事者の技量アップにつなげる。         |
| 地域移行促進部会     | 「地域移行促進」の課題を以下の4項目に分類し、取組みを進める。<br>(1)住む場の条件を広げる。(2)医療との連携を広げる。(3)一人暮らしを支援する体制を広げる。(4)区民の理解を得る活動。 |
| 高齢・障害連携部会    | 「高齢期に向けた柔軟な支援体制をつくる」<br>「年齢を重ねても安心して暮らし続けられる地域づくり」                                                |
| 計画部会         | 障害福祉計画の推進状況を把握し、必要に応じて障害福祉計画に係る助言等を行う                                                             |
| 医療的ケア児支援検討部会 | 医療的ケア児及びその保護者の現状・課題等の意見交換。<br>杉並区医療的ケア児支援庁内連絡会と情報共有し連携することで、地域での切れ目のない支援体制を構築する。                  |

# 【本会の取り組み】

## 第1期

(平成19,20年度)

- ・保健福祉計画改定に向けて、専門部会の報告と検討
- ・「あってよかった自立支援協議会にするためには」

## 第2期

(平成21,22年度)

- ・相談支援体制の整備、福祉と教育の連携、成年後見制度との連携など課題
- ・部会活動を通して、自立支援の課題が明らかに

## 第3期

(平成23,24年度)

- ・地域における課題(虐待防止、新しい相談支援体制について、教育と福祉の連携について)
- ・第三期障害福祉計画策定に当たり、議論した課題をまとめる

## 第4期

(平成25,26年度)

- ・障害者の就労支援における現状と課題
- ・障害福祉計画の進捗状況把握と検討、助言

## 第5期

(平成27,28年度)

- ・安心して暮らし続けられる地域づくり
- ・差別解消支援地域会議の設置

## 第6期

(平成29,30年度)

- ・障害福祉計画への意見反映強化
- ・高齢分野との連携強化
- ・働きサポート部会の新設

## 第7期 (令和元,2年度)

- 「意思決定支援」についての取り組みの共有、意見交換
- 高齢・障害連携部会の新設
- 新型コロナウイルスへの対応、各現場の現状と課題の共有
- 地域生活支援拠点の整備に向けて意見交換

## 第8期 (令和3,4年度)

- 計画部会、医療的ケア児支援検討部会の新設
- 働きかたサポート部会については第8期で終了
- 基幹相談支援センターの役割や業務について
- 医療的ケア児の課題検討
- 虐待防止にむけて検討

## 令和5年度 自立支援協議会本会と計画部会のスケジュール

|      | 4月 | 5月                  | 6月                 | 7月                 | 8月                | 9月             | 10月                | 11月 | 12月 | 1月              | 2月                | 3月 |
|------|----|---------------------|--------------------|--------------------|-------------------|----------------|--------------------|-----|-----|-----------------|-------------------|----|
| 本会   |    | 第1回<br>5/15<br>委員選出 |                    | 第2回<br>7/6         |                   |                | 第3回<br>計画案<br>意見聴取 |     |     |                 | 第4回<br>計画決定<br>報告 |    |
| 計画部会 |    |                     | ①<br>調査分析・<br>計画骨子 | ②<br>意見聴取・<br>素案検討 | ③<br>計画素案<br>意見聴取 | ④<br>計画案<br>検討 |                    |     |     | ⑤<br>計画修正<br>報告 |                   |    |

## 地域自立支援協議会計画部会について

現在の第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画(以下「現計画」という。)が令和5年度に終期を迎えることから、杉並区障害者計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画の3計画を一体的に(仮称)杉並区障害者施策推進計画として策定する。策定にあたっては、地域自立支援協議会のもとに設置する計画部会により、以下のとおり進める。

### 1 構成メンバー

学識経験者(1名程度)

障害当事者(1名程度)

教育関係者(1名程度)

就労支援関係者(1名程度)

サービス事業所(2名程度)

相談支援事業所(2名程度)

上記のほか、障害者福祉推進連絡協議会からの選出委員(7名程度)の計15名程度

※具体的な構成メンバーに関しては、【資料4-3】のとおり

### 2 計画の基本的な考え方・期間・今後のスケジュール(予定)

○【資料4-2】(仮称)杉並区障害者施策推進計画の策定について

## (仮称)杉並区障害者施策推進計画の策定について

市区町村には、障害者基本法第 11 条の規定に基づく「障害者計画」と、3年を1期とした障害者総合支援法第 88 条の規定に基づく「障害福祉計画」及び児童福祉法第 33 条の 20 の規定に基づく「障害児福祉計画」を策定することが義務付けられています。

令和6年度を始期とする計画の策定にあたっては、今後、国から示される基本指針及び今年度を実施している「杉並区障害者等基礎調査(障害者・事業者対象)」の結果を踏まえ、地域自立支援協議会、障害者福祉推進連絡協議会等の御意見を伺いながら、検討を進めていきます。

### 記

#### 1 計画の基本的な考え方

- 区の上位計画である「杉並区基本構想」、「杉並区総合計画・杉並区実行計画」と整合を図ります。
- 「杉並区保健福祉計画」は、これまで保健福祉施策全体を網羅した一体的な計画として策定していましたが、保健福祉の各分野(地域福祉・障害者・高齢者・子ども家庭・健康医療)ごとの取組を把握しやすくするとともに、区や区民を取り巻く環境の変化に的確に対応するため、令和5年度を始期とする計画から、法令等に基づく計画を中心に「地域福祉」「障害者」「高齢者」「子ども家庭」「健康医療」の5分野の体系ごとに統合・再編されることになりました。
- 「杉並区保健福祉計画」の障害者分野の計画は、杉並区障害者計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画の3計画を一体的に「(仮称)障害者施策推進計画」として策定します。
- 「(仮称)障害者施策推進計画」は、法令等で定める現在の障害福祉計画・障害児福祉計画の計画終期が令和5年度末であることから、令和6年度を始期とします。

#### 2 計画期間

令和6～8年度(3年間)

※障害福祉計画・障害児福祉計画の計画期間については国が見直しの方向性を示しており、今後の国の動き、都や他自治体の状況を注視します。

#### 3 今後のスケジュール(予定)

裏面「(仮称)障害者施策推進計画 策定スケジュール(案)」のとおり

## (仮称)杉並区障害者施策推進計画策定スケジュール(案)

|       | 保健福祉計画<br>(地域福祉・子ども家庭<br>・健康医療) | (仮称)障害者施策推進計画                                                                                                                             | 地域自立支援協議会・障害者福祉推進<br>連絡協議会・計画部会 |
|-------|---------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| 令和5年  | 計画素案確定                          | <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;">                     結果分析<br/>障害者等基礎調査                 </div> |                                 |
| 1月    | 政調・経営会議<br>(計画案確定)              |                                                                                                                                           |                                 |
| 2月    | 保健福祉委員会<br>(計画案報告)              |                                                                                                                                           |                                 |
| 3月    | パブコメ<br>(1か月)                   |                                                                                                                                           | 障害者福祉推進連絡協議会 計画部会委員選出           |
| 令和5年度 |                                 | 障害者等基礎調査報告書公表                                                                                                                             | 障害者等基礎調査報告                      |
| 4月    |                                 |                                                                                                                                           |                                 |
| 5月    | 計画修正案<br>政調・経営会議<br>(計画決定)      |                                                                                                                                           | 地域自立支援協議会 計画部会委員選出              |
| 6月    | 保健福祉委員会<br>(計画決定報告)<br>計画公表     | 計画骨子 確定                                                                                                                                   | 計画部会① 調査分析等報告・計画骨子の検討           |
| 7月    |                                 | 作成<br>計画素案                                                                                                                                | 計画部会② 計画骨子意見聴取・素案検討             |
| 8月    |                                 | 計画素案 確定                                                                                                                                   | 計画部会③ 計画素案意見聴取                  |
| 9月    |                                 | 作成<br>計画案                                                                                                                                 | 計画部会④ 計画案 検討                    |
| 10月   |                                 | 計画案 確定                                                                                                                                    | 地域自立支援協議会・福祉推進連絡協議会<br>計画案意見聴取  |
| 11月   |                                 | 政調・経営会議(計画案確定)<br>保健福祉委員会(計画案報告)                                                                                                          |                                 |
| 12月   |                                 | パブコメ<br>(1か月)                                                                                                                             |                                 |
| 令和6年  |                                 | 計画修正案                                                                                                                                     | 計画部会⑤ 計画修正報告                    |
| 1月    |                                 | 政調・経営会議(計画決定)                                                                                                                             |                                 |
| 2月    |                                 | 保健福祉委員会(計画決定報告)                                                                                                                           | 地域自立支援協議会・福祉推進連絡協議会<br>計画決定報告   |
| 3月    |                                 | 計画公表                                                                                                                                      |                                 |
| 令和6年度 |                                 | (仮称)障害者施策推進計画                                                                                                                             |                                 |
| 4月    |                                 |                                                                                                                                           |                                 |

## 令和5年度 地域自立支援協議会計画部会名簿

| No. | 部会員氏名  | 団体名等                          | 区分      | 備考                |
|-----|--------|-------------------------------|---------|-------------------|
| 1   | 高山 由美子 | ルーテル学院大学                      | 学識経験者   | 地域自立支援協議会からの選出    |
| 2   | 宮崎 卓矢  | 都立永福学園肢体不自由教育(高等部)            | 教育関係者   |                   |
| 3   | 氷見 真敏  | 杉並区障害者雇用支援事業団                 | 就労支援関係者 |                   |
| 4   | 小林 哲   | 杉並育成園すだちの里すぎなみ                | サービス事業所 |                   |
| 5   | 中元 直樹  | 精神障害者地域生活支援すぎなみ会議(グループホームネスト) | サービス事業所 |                   |
| 6   | 野瀬 千亜紀 | すまいる荻窪                        | 相談支援事業所 |                   |
| 7   | 修理 美加沙 | やどり木                          | 相談支援事業所 |                   |
| 8   | 黒澤 美花  | ピア相談員                         | 障害当事者   |                   |
| 9   | 先野 眞紀子 | 杉並区民生委員児童委員協議会                | 社会福祉団体  | 障害者福祉推進連絡協議会からの選出 |
| 10  | 高橋 博   | 杉並区身体障害者協会                    | 障害者団体   |                   |
| 11  | 佐藤 一人  | 杉並区視覚障害者福祉協会                  |         |                   |
| 12  | 鈴木 道夫  | 杉並区聴覚障害者協会                    |         |                   |
| 13  | 杉原 千鶴子 | 杉並区肢体不自由児者父母の会                |         |                   |
| 14  | 永田 直子  | 杉並区手をつなぐ育成会                   |         |                   |
| 15  | 藤谷 恵美子 | 杉並家族会                         |         |                   |



# 地域生活支援拠点の評価について

地域生活支援を充実させるための目標

地域生活支援拠点



充実させていくために…

- ★令和4年障害者総合支援法改正により、  
法律上に明記するとともに整備・運営が努力義務化。
- ★第7期(令和6～8年度)障害福祉計画における成果目標(案)
  - ・コーディネーターの配置など、より効果的な支援体制の構築を進める。
  - ・年1回以上、運営状況を検証および検討する。

# 地域生活支援拠点の役割

①地域課題等の把握・現状の取組みの共有・方向性の検討

②地域課題等への方針・対応策の決定

③方針・対応策の内容の評価

④方針・対応策の改善

①～④を  
繰り返す  
(PDCAサイクル)

これら①～④を、主に

**自立支援協議会**

で行う。

# 地域生活支援拠点の主な取組み

## 現状

令和4年の障害者総合支援法改正により、国から市区町村へ向け、地域生活支援拠点の整備を進める。



法改正に先駆け、

**令和3年 杉並区 基幹相談支援センターを開設。**

## 今後の取組み

**地域生活支援拠点等の評価指標を開発する。**

(地域生活支援拠点が地域でしっかり機能しているかを評価するための基準をつくる！)

# (例)評価指標の一部

評価項目:障害者等の入所施設や精神科病院等から地域生活への移行における課題の把握について

| 評価項目                                                    | 取組み状況(達成度)                                            |
|---------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| 1. 入所施設や精神科病院等から地域生活への移行について、ニーズを把握するための活動を定期的に実施しているか。 | 【    】十分できている。<br>【    】一定程度できている。<br>【    】全くできていない。 |
| 2. ニーズの把握のために、本人のもとへ訪問し面接等を行い、情報収集をしているか。               | 【    】十分できている。<br>【    】一定程度できている。<br>【    】全くできていない。 |
| 3. 地域移行や移行後の生活を支える社会資源の説明を本人へ行っているか。                    | 【    】十分できている。<br>【    】一定程度できている。<br>【    】全くできていない。 |

# 個別事例を通じた地域課題の検討について

## (自立支援)協議会の現状と課題

### 協議会の目的

- ①障害者の地域における支援体制を共有する。
- ②地域の実情に応じた体制の整備について協議する。

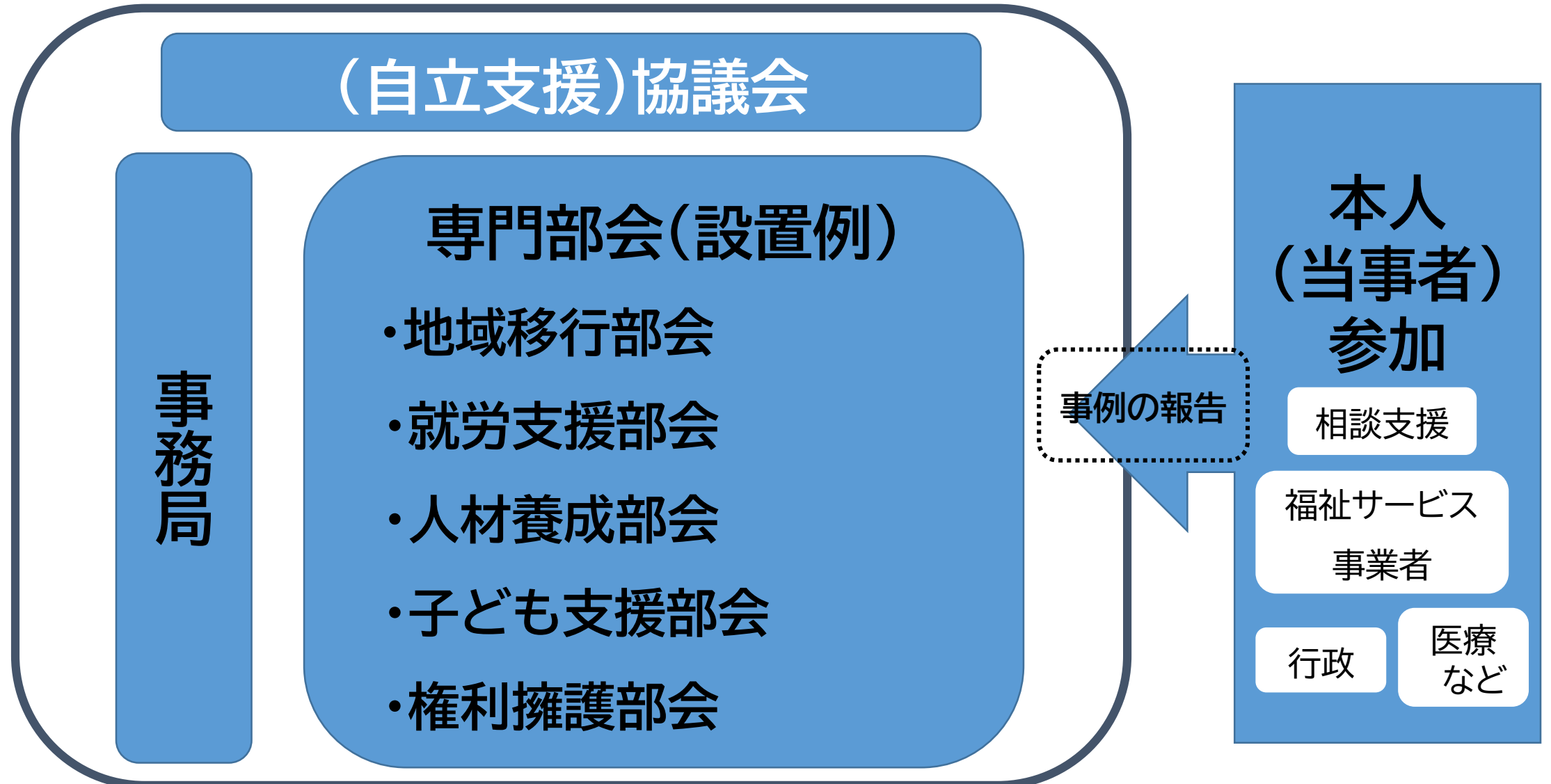
### 現状

- ⚠個別事例を通じた地域課題の検討が十分に行われていない。
- ⚠つまり、具体的な検討がなされておらず、「形だけの会議になっている」との指摘がある。

### 課題

**個別事例を通じた地域課題の検討を促進する！**

# (自立支援)協議会の構成イメージ例



# (自立支援)協議会に関する法律の改正内容

(障害者総合支援法89条の3関係)

POINT1 「個別事例から地域課題の抽出」の取組みが重要であることを踏まえ、  
協議会の役割に「障害者等の適切な支援に関する情報共有」について  
明確化。

POINT2 地域の関係機関に対し、情報共有や意見表明等の協力を求めること  
ができること、また、求めがあった場合には関係機関等が協力する  
よう努める旨規定。※新設

POINT3 個別の支援検討を明確化したことに伴い、協議会関係者に守秘義務  
を課す。※新設

# (参考)改正障害者総合支援法条文

(協議会)

第八十九条の三 地方公共団体は、単独でまたは共同して、障害者等への支援の体制の整備を図るため、関係機関、関係団体並びに障害者等及びその家族並びに障害者等の福祉、医療、教育又は雇用に関連する職務に従事する者その他の関係者（以下この条において「関係機関等」という。）により構成される協議会（以下この条において単に「協議会」という。）を置くように努めなければならない。

2 協議会は、関係機関等が相互の連絡を図ることにより、地域における障害者等への適切な支援に関する情報及び支援体制に関する課題についての情報を共有し、関係機関等の連携の緊密化を図るとともに、地域の実情に応じた体制の整備について協議を行うものとする。

3 協議会は、前項の規定による情報の共有及び協議を行うために必要があると認めるときは、関係機関等に対し、資料又は情報の提供、意見の表明その他必要な協力を求めることができる。

4 関係機関等は、前項の規定による求めがあった場合には、これに協力するように努めるものとする。

5 協議会の事務に従事する者又は従事していた者は、正当な理由なしに、協議会の事務に関して知り得た秘密を漏らしてはならない。

6 前各項に定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し、必要な事項は、協議会が定める。



≪第8期 本会・部会で検討・確認したこと≫

**自立支援協議会の運営**

○第7期(令和1～2年度)は新型コロナウイルス感染防止による緊急事態宣言・杉並区のBCP体制などにより、協議会活動も大幅な縮小となった。その中でも①「意思決定支援」についての議論 ②高齢・障害連携部会の新設 ③新型コロナへの対応、現状と課題の共有 ④シンポジウムの継続開催(代替活動としてパネル展示)などの取り組みを行ってきた。

○第8期(令和3～4年度)は第7期のテーマを引き継ぐと共に、コロナ禍における虐待問題から対応策へ、杉並区内の障害者支援体制の整備など、新たな展開に合わせて、情報の共有から課題の検討⇒取り組みの提案という流れで議論を重ねてきた。

また令和4年度より①計画部会②医療的ケア児支援検討部会を設置した。働きかたサポート部会については第8期で終了予定。

**地域における課題検討等**

**【R3年度】**

第1回 ○地域生活支援拠点について

基幹相談支援センター設置により、地域生活支援拠点を面的整備。具体的な取り組みについて今後検討していく。

○基幹相談支援センターの役割や業務等について

福祉事務所から区役所へ障害者の相談窓口等の変更。新設の基幹相談支援センターに期待すること、緊急時対応計画など意見交換。

第2回 ○医療的ケア児支援の現状と課題

第3回 ○総合計画・実行計画(案)について

○コロナ禍での虐待について(基幹センター事例報告)

○医療的ケア児の課題検討、部会について

※第1～3回はオンライン開催

第4回 ○書面開催「虐待防止にむけて、次にどんなアクションが必要か!？」意見集約(アンケート)

☆シンポジウム すきなみスタイル放映「障害のある人たちに聞いたコロナ禍でできるようになったこと」

感染拡大の状況により、集合形式のシンポジウムは開催できず。厳しい状況の中でも、前向きに生活を送る様子を伝えることができ、好評。

**【R4年度】**

第1回 ○虐待防止の取り組みについてグループ討議

R3年度第4回のアンケート結果を踏まえて、グループ討議にて意見交換。各所の実践を共有できる取り組みが期待される。

第2回 ○虐待防止の取り組み案について共有

多岐にわたる虐待防止の方策について意見交換。各分野の現状と取り組み案について報告。

※第1～2回はオンライン開催

第3回 通常開催を再開。第8期本会委員が初めて一堂に会す回となった。

○基幹相談支援センターより活動報告～地域生活支援拠点の取り組みなど意見交換も含む～

計画相談の質の向上、基幹相談支援センターと障害福祉サービス系の役割分担について課題提起。

○「杉並区の防災対策」についてレクチャー

今後の課題として、障害者の防災対策が提起される。まず現状の把握として所管課よりレクチャーを受ける。

第4回 ○すまいるより活動報告

○第8期のまとめ～第9期に向けて

☆シンポジウム「知ってほしい、地域でくらす私たちのこと！」R5年3月7日開催予定。

**各部会活動について**

※各部会活動報告を参照

≪今後検討の必要がある課題など≫

**自立支援協議会の運営**

○通常開催が再開し、さらに活発な議論が期待される。各委員がそれぞれの立場から発言しやすい運営が望まれる。

※事前に議題を共有すること。当事者委員の声を活かしていくこと。

○期、年度を通して、取り組みが見通せるような組み立て。

※テーマ・議題について予め設定しておくなど。

○本会と各部会の報告⇔課題提起⇔取り組み提案など、連携を確認。

○「個別事例を通じた地域課題の共有、地域の支援体制の整備に向けた協議の場」(R4/10 厚生労働省法改正の概要資料より)として、その役割と機能を確認していく。

○ハイブリッドなど、開催方法についても検討する。

**地域における課題等**

○これまでの議論の中で確認されている課題

・意思決定支援の取り組み

・相談支援体制の確認

・地域生活支援拠点の体制整備

・虐待防止の取り組み・ネットワーク構築

・障害者の防災対策

○各部会の活動から見えてきた課題

・相談支援部会

・地域移行部会

・高齢・障害連携部会

・医療的ケア児支援検討部会

・計画部会

**第9期自立支援協議会に向けて**

・意思決定支援の取り組み

・虐待防止の取り組み・ネットワーク構築

|   | 意見                                                                                                                                                                                                                                                                            | 提案                                                                                   | 取り組み状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 今後の取り組みと課題について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | <p>■第1回本会グループ討議より意見</p> <p>昨年度のアンケートは「すぎなみ会議」という精神障害の事業所の集まりから出た意見を記載した。主な内容は積極的に研修へ参加する、虐待防止委員会を実施する、虐待防止チェックリストを貼り出す、小さな問題を見逃さないようにする、職員のメンタルヘルス対策を行う、風通しのよい職場づくりなど。</p>                                                                                                    | <p>■研修・人材育成(共有する・つながる・学びあう・風通しを良くする)</p> <p>■虐待防止委員会の義務化に合わせ、ノウハウを共有。責任者の連絡会を開催。</p> | <p>▶基幹相談支援センター<br/>R4年度/障害者虐待防止研修「虐待防止委員会を理解しよう」<br/>R4年11月15日(火)開催 参加事業所数: 26 所 32 名</p> <p>▶基幹相談支援センター<br/>事業者向け基礎調査の項目に虐待防止委員会の設置状況を入れ、区内の虐待防止委員会の設置状況を把握する。</p> <p>▶事業者調整担当係長<br/>R4年度/支援者同士がつながることで地域の支援力を高める人材育成等の取組を進める。リレー研修の実施</p>                                                                                                                                                  | <p>▶基幹相談支援センター<br/>虐待防止委員会の設置状況を把握し、虐待防止責任者の連絡会の開催など、虐待防止委員会運営のノウハウを共有する機会を設定していく。</p> <p>▶事業者調整担当<br/>リレー研修を継続し、地域の支援力を高める人材育成の取り組みを進めるとともに、区で実施している研修を体系化し、効果的な人材育成を進めていく。</p>                                                                                                                                                                                                            |
| 2 | <p>■第1回本会より意見</p> <p>前回の幹事会でも、皆さんの実践を踏まえて、共有できるような資料の作成や分かりやすい事例集の作成、啓発のポスターを作るなど意見が出ている。協議会として見える形やモノにして、使っていくことができるものになりたい。そして実践を振り返るものにつながっていくようなものになるとよい。</p>                                                                                                             | <p>■資料・ガイドブックなど作成(「良かったこと調査」など差別解消の事例集を参照)</p> <p>■ポスター(MAP)の作成(虐待予防の連携見取り図)</p>     | <p>▶自立支援協議会<br/>令和3年度第4回自立支援協議会(書面開催)での虐待防止の取り組みに関するアンケート内容について、グループワークや意見交換を行った。</p> <p>▶自立支援協議会シンポジウム<br/>R4年度/シンポジウムに合わせて、R3年第4回の委員アンケート内容から、虐待防止に大切なことについてパンフレットを作成する。</p>                                                                                                                                                                                                               | <p>▶自立支援協議会<br/>虐待防止の取り組みを進める中で、虐待防止の連携見取り図(MAP)の作成に取り組むことができなかったため、次期につなげていく。<br/>委員アンケート内容をもとに虐待防止に大切なことについてのパンフレットの作成に取り組んだが、事例集の作成には取り組むことができなかったため、相談支援部会などの場を活用して作成に取り組んでいく。</p>                                                                                                                                                                                                      |
| 3 | <p>■第1回本会グループ討議より意見</p> <p>家族の立場として、家庭での虐待は特に気にしている。障害受容の過程で、「この子は私しか守れない」という思い込みを愛情の裏返しで強めてしまうこともある。また、支援者への支援が足りないことや社会資源が不足し(例えばグループホームなど)、そういう環境の課題も影響している。なにより、本人の周りに対する理解の難しさ、周りが本人のことを理解することの難しさがあり、本人が混乱しているときに、本人がどんな気持ちとなっているのかわからない時などに、虐待に繋がることが生じてしまうのかなと思う。</p> | <p>■家庭向けの支援</p> <p>■障害特性の理解促進</p>                                                    | <p>▶基幹相談支援センター<br/>継続/相談支援の現場において、どのようなアプローチが必要か。個々のネットワークを充実する方向性で、相談支援体制を充実させていく(地域生活支援拠点等)。</p> <p>▶家族会や当事者活動等<br/>継続/当事者の声を発信しながら虐待防止や意思決定支援の啓発に取り組む。</p> <p>▶基幹相談支援センター<br/>通報等があった施設等に対して虐待の要因を分析し、障害特性の理解や支援方法などについて、専門的な視点から助言を受ける研修や専門相談等を施設等に出向いて実施している。また、必要に応じて関係者会議を開催を促し、支援方針等の共有を図るなど、虐待防止のネットワーク構築を図っている。困難事例については、在宅医療・生活支援センターの支援会議を活用し、弁護士や精神科医等からの助言を受けて支援方針を確認している。</p> | <p>▶基幹相談支援センター<br/>継続/相談支援の現場において、どのようなアプローチが必要か、<b>個々のネットワークを充実する方向性で、相談支援体制をさらに充実させていく</b>(地域生活支援拠点等)。</p> <p>▶家族会や当事者活動等<br/>継続/当事者の声を発信しながら虐待防止や意思決定支援の啓発に取り組む。</p> <p>▶基幹相談支援センター<br/>継続/通報等があった施設等に対して虐待の要因を分析し、障害特性の理解や支援方法などについて専門的な視点から助言を受ける研修や専門相談等を実施する。困難事例については、在宅医療・生活支援センターの支援会議を活用し、法律や医療の専門家から助言を受け、支援方針を確認していく。また、適切な施設運営に向けた情報提供や相談ができる仕組みや<b>ネットワークづくりをすすめていく。</b></p> |
| 4 | <p>GHの新設が続いているが、安定した運営がされているか、非常に心配している。</p> <p>■R3年度第4回アンケートより意見</p> <p>今後、組織として取り組みたいこと:GH地域ネットワーク事業を活用した人材育成。(虐待をしないことは当然のこと、さらに意思決定支援など質の高い支援に取り組んでいくことで虐待をしない組織にしていく)</p>                                                                                                | <p>■新設GHの支援</p> <p>■GHの人材育成の支援</p>                                                   | <p>▶GH地域ネットワーク事業(障害者施策課管理係が委託)<br/>継続/新設のGHも参加を呼び掛けていく。</p> <p>▶基幹相談支援センター<br/>R3年度虐待防止研修をGH世話人向けに開催(オンライン)<br/>参加事業者数: 24 所 30 名<br/>オンラインでの研修でグループワークを行ったところ、他のGHの状況を聞くことができ有意義だったとの意見があった。</p>                                                                                                                                                                                            | <p>▶GH地域ネットワーク事業との連携について検討する。<br/>ネットワーク事業の内容について知り、虐待防止に向けた取り組みに向けて連携できることや、具体策を検討していく。</p> <p>▶基幹相談支援センター<br/>密室になりがちなGHにおいて、<b>虐待の未然防止に向けたネットワークづくりの具体策を検討する。</b>(たとえば相談支援と連携したGH訪問など)</p>                                                                                                                                                                                               |
| 5 | <p>■5月25日相談支援部会幹事会より意見</p> <p>相談支援部会で課題抽出は取り組めるが、虐待防止の範囲が広すぎるため、本会でテーマを絞って提示していただきたいとのこと。<br/>第9期より権利擁護部会の立ち上げ準備など相談支援部会で取り組むか否か。</p>                                                                                                                                         | <p>■自立支援協議会の継続した取り組み</p>                                                             | <p>▶自立支援協議会<br/>第7期～第8期は、意思決定支援をテーマに議論をしてきたが、新型コロナ感染拡大による中断や、書面開催やオンライン開催などの工夫はしてきたものの、継続的に議論を深めるところまで至らない部分があった。第8期の後半には、コロナ禍における虐待防止について議題にあげ、アンケートで意見聴取するなどの議論を重ねてきた。</p>                                                                                                                                                                                                                 | <p>▶自立支援協議会<br/>第7期から意思決定支援をテーマに議論を重ねてきたが、コロナ禍も影響して継続的な議論を深めるところまで至らない部分があったため、自立支援協議会で何をどのように取り組んでいくか、今後の本会テーマ・見通しと共に確認していく。<br/>虐待防止に関する取り組みについては、第8期にできなかったことに取り組んでいくとともに、継続的に自立支援協議会の議題にあげ、課題の共有や解決に向けた議論を行っていく。</p>                                                                                                                                                                    |

|                | 基調講演等                                                                           | パネルディスカッション                                                                                                                |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成<br>23<br>年度 | 障害者総合福祉法の動向と今後の障害者福祉<br>の展望<br>明治学院大学教授 茨木尚子 氏                                  | 「地域における障害者の自立生活を考える」<br>地域で生活する精神障害の当事者とその支援者、グループホームで生活する知的障害の当事者とその支援者に登壇してもらった。                                         |
| 平成<br>24<br>年度 | 新しい相談支援の仕組みと自立支援協議会<br>厚生労働省社会・援護局障害保健福祉<br>部障害福祉課地域移行・障害児支援<br>相談支援専門官 遅塚 昭彦 氏 | 「地域における障害者の自立生活を考える」<br>地域で生活する身体障害の当事者の方と支援者に登壇してもらった。                                                                    |
| 平成<br>25<br>年度 | 医療的ケアの変遷と今後の展望～重度障害者<br>の地域生活をささえていくために<br>特定非営利活動法人地域ケアサポート研究所<br>理事長 飯野 順子 氏  | 「医療的サポートが必要な障害者の地域生活を考える」<br>地域で生活する、 <u>医療的ケアが必要な障害当事者とその支援者</u> に登壇してもらった。フロアからも意見をいただいた。                                |
| 平成<br>26<br>年度 | 「障害者権利条約と合理的配慮」<br>DPI (障害者インターナショナル)<br>日本会議事務局長 佐藤 聡 氏                        | 「地域における障害者の就労と自立生活について考える」<br>地域で生活しながら <u>就労をしている知的、精神障害に当事者の方とその支援者</u> に登壇してもらった。フロアからも意見をいただいた。                        |
| 平成<br>27<br>年度 | 基調講演は実施しなかった                                                                    | 「地域における障害者の自立生活を考える」<br><u>知的障害、高次脳機能障害の当事者とその支援者</u> に登壇していただき、日々の暮らしと当事者活動への参加について話をしてもらった。                              |
| 平成<br>28<br>年度 | 「障害者差別解消法」が施行されたことの意味<br>～障がい者の権利を実現すること～<br>ルーテル学院大学総合人間学部<br>教授 高山 由美子 氏      | 「地域における障害者の自立生活を考える」<br>身体障害、知的障害、精神障害の当事者とその支援者に登壇していただき、 <u>障害者に対する差別・合理的配慮をテーマに</u> 、日々の暮らしや当事者活動の中で感じることにについて話をしてもらった。 |
| 平成<br>29<br>年度 | 杉並区地域自立支援協議会<br>～10年の歩みとこれから～<br>ルーテル学院大学総合人間学部<br>教授 高山 由美子 氏                  | 「地域における障害者の自立生活を考える」<br>精神障害、知的障害の当事者とその支援者に登壇していただき、 <u>障害者の地域移行をテーマに</u> 、日々の暮らしや当事者活動の中で感じることにについて話をしてもらった。             |
| 平成<br>30<br>年度 | 杉並区地域自立支援協議会の取り組み報告等<br>ルーテル学院大学総合人間学部<br>教授 高山 由美子 氏 他                         | 「地域における障害者の自立生活を考える」<br>身体障害、知的障害の当事者とその支援者に登壇していただき、 <u>地域で働き、地域で暮らすをテーマに</u> 日々の暮らしや就労している中で感じることにについて話をしてもらった。          |
| 令和<br>1<br>年度  | 杉並区地域自立支援協議会の取り組み報告等<br>ルーテル学院大学総合人間学部<br>教授 高山 由美子 氏 他                         | 「地域における障害者の自立生活を考える」<br><u>サブテーマ：自分らしく生きる</u> 。一人暮らしをしている精神障害、知的障害の当事者とその支援者に登壇して頂き、日々の暮らしについて話をしてもらった。                    |

|               | 基調講演等                                                                                                                                                                                                           | パネルディスカッション                                                                       |
|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 令和<br>2<br>年度 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウィルス蔓延によりシンポジウム形式での実施はなし。協議会についてのパネル展示。</li> <li>・本会、部会のこれまでの取り組みをそれぞれまとめ、区役所2階展示スペースにてパネル展示。</li> </ul>                                                             |                                                                                   |
| 令和<br>3<br>年度 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウィルス蔓延によりシンポジウム形式での実施はなし。動画配信・ケーブルテレビにて放映。区公式番組「すぎなみスタイル（障害のある人に聞いたコロナ禍でできるようになったこと）」として配信。障害当事者にコロナ禍だけできるようになったことや良かったことなどをインタビューし、ポジティブな地域生活の一面を紹介する内容。</li> </ul> |                                                                                   |
| 令和<br>4<br>年度 | <b>杉並区地域自立支援協議会の取り組み報告等</b><br>ルーテル学院大学総合人間学部<br>教授 高山 由美子 氏 他                                                                                                                                                  | <b>「知ってほしい、地域でくらす私たちのこと！」</b><br>自立支援協議会当事者及び家族委員4名にご登壇して頂き、地域での暮らしについて、話をしてもらった。 |